

学 校 概 要	
創立開校	昭和22. 5. 1
校 長	諏訪部 真史 副校長 玉置 恭美
生徒数	1年 2 4 9名 2年 2 4 7名 3年 2 3 0名 計 7 2 5名（H27.4.7現在）
学級数	1年 7学級 2年 7学級 3年 6学級 個別支援4学級 計 2 4学級
学区概要	
◎学区域	
さつきが丘，しらとり台，つつじが丘，梅ヶ丘，下谷本町（17番地，19番地，22～51番地，59番地以降），藤が丘一丁目（16番地以降），藤が丘二丁目	
◎学区域の概要	
青葉区の南に位置し，鶴見川上流，谷本川と恩田川にはさまれた丘陵地を中心とした純農村地域であったが，国道246号線の改修，田園都市の開通により，都市計画による開発が行われ，横浜・川崎・東京のベッドタウンとしての特色を強めてきた。	
学校周辺は分譲住宅，マンション等が多く，学区は東名高速道路，国道246号線等主要道路に囲まれている。住宅地がほとんどだが，日本たばこ（株）中央研究所，ユニパック等の学術研究所もある。	
〈小中ブロック〉 谷本小学校 つつじが丘小学校 藤が丘小学校 さつきが丘小学校	

学 校 教 育 目 標
たくましく、生きる力を育むために
○自ら学習に意欲的に取り組む姿勢と、確かな学力を育てます。【知】
○豊かなかかわり合いを通して社会性を育み、思いやりの心を育てます。【特】【公】
○自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を育てます。【体】【開】
素敵に Communication !! — 自分が輝く、みんなも輝く、谷本中学校 —

学 校 経 営 中 期 目 標	
①生徒に知識や技能に加え、学習意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び主体的に判断し、他者と協働して問題を解決する力など「確かな学力」を育てます。【国語力及び学習の基盤的能力の育成】	
②各教科の学習や学校行事、生徒会活動及び部活動など学校教育全般の活動を通して、生徒の豊かな感性を培い、人権感覚を育み、人との関わり合いの中で思いやりを持った行動や発言ができる心を育てます。【豊かな心・コミュニケーション能力の育成】	
③生徒自らが心身の健康や体力の維持・増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢を育てます。【健康でたくましい体の育成】	
④将来の夢に向かって、自ら情報を収集・整理しながら、必要となる知識や技能を習得し、それらを活用しながら社会の変化に対応する力を育てます。【社会の変化への対応力・情報化社会を生き抜く能力の育成】	
学校経営 中期目標 設定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎、基本の確実な定着を図るため、少人数T・T授業の取組を継続してきており、成果が出ている。学習相談の充実を図り、生徒一人ひとりを大切にしたい指導を一層深める必要がある。 ・誰もが安心して豊かな学校生活を送るために、人権教育 平和教育 福祉教育 道德教育等を充実させ、おもいやりの心を育てることが大切である。学校生活のスタートに朝読書をいれることで、とても落ち着いた学活、授業へと継続できている。 ・著しい身心の成長期に、心と体の健やかな育成と体力の向上を図るため、体育的、文化的活動の充実や、食育の推進・充実を図る必要がある。

小 中 一 貫 教 育 推 進 ブ ロ ッ ク 目 標

共通目標	共によりよく生きる子の育成（共生） ～豊かなかかわりを通して～ をテーマに小中ブロック間の連携を深めます。
自校の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4小学校と本校の年間交流カリキュラムを作成し、教員の交流会、合同研修を通じてよりよい小中一貫カリキュラムを検討・実践します。 ・ 中学校の職員が交流授業を積極的に行い教師間の連携を図ります。 ・ 小中の子どもたちが学校行事等で交流できるよう学校間の連携を強化します。 ・ 栄養教諭による食育の出前授業、望ましい地域防災のあり方を考える、等の新たな取り組みをしています。

共 通 取 組 内 容

1. 確かな学力	2. 豊かな心	3. 健やかな体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「確かな学力」の定着を図るため、授業時間の確保や学習相談を行い個々に寄り添った支援をします。また、学習習慣の定着のため家庭との連携を図っています。 ・ 数学1年TT、2、3年少人数指導 英語2、3年少人数指導、理科2年TTを実施し、基礎 ・ 基本の確実な定着を図り確かな学力を身につけられるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自他ともに生命を尊重し、いじめや暴力行為をなくすため、人権教育、平和教育、福祉教育の充実を図り、生徒個々の人権感覚を高める啓発と、地域貢献への姿勢を育成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健やかな身心の育成と体力の向上を図るため、体育的、文化的活動の充実を図っています。 ・ 生徒自らが心身の健康や体力の維持 ・ 増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢を育成しています。 ・ 食育実践推進校として「子どもと家庭、学校が協働して取り組む食育の推進」を図ります。

重 点 取 組 分 野

4. 特別支援教育	5. 生徒指導	6. キャリア教育	7. 域連携
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援を必要とする生徒の情報収集をもとに、人的、環境整備を充実させ教職員の共通理解を図っています。 ・ 保護者及び本人の思いに立ち、個別支援計画を作成し、適切な支援を目指しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談を充実させ、生徒・保護者の思いに立った支援を心がけ、いじめ等の未然の取組に全職員であたっています。 ・ 生徒指導に対して、情報収集や教職員の連携を大切に、迅速な対応を行えるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々の協力のもと、1年で出前授業、2年で職場体験学習、3年で自分の今後の進路を考える進路学習を実施し、学年ごとに系統性をもった指導を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区懇談会の運営、推進に保護者と連携しより意義のあるものになっています。 ・ 地域行事への参加を計画的に行うよう、情報収集に心がけ多くの生徒職員が関わっています。 ・ 学校運営協議会を設置し、年に数回実施し、学校運営に生かしていきます。

8. 人材育成・組織運営

<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の指導力向上を目指し、さまざまな教育課題に対して組織的な対応を心がけ、教職員間の連携を深め、経験年数3年未満の教師を対象に校内でメンターチームによる支援を充実させ、実践力向上を図ります。 ・ 組織の効果的運営とミドルリーダーの育成を目指し、主幹教諭と連携をし、教職員育成に繋がる研修を行い意識向上を図っています。 ・ 校内研修の計画的な実施により、教科指導、生徒指導・理解、危機管理能力など、学校に求められる教師力の向上に努めます。 ・ 教職員が相互に啓発・連携・協働する活気あふれる学校運営に取り組みます。
--

